

医療・保健・福祉と防災の連携に関する作業グループ 検討の方向性について

1 検討方針

現場の意見を聞きながら、当面下記のテーマを議論する。

(1) 発災後間もない間の対応

- いわゆる被災者を「アセス疲れ」に陥らせないための情報の整理、集約
 - ・ 調査票の統一、共有方策のあり方
 - ・ SIP防災の活用(災害時保健医療福祉活動支援システム)を通じ、各種支援団体が収集する情報が重複させない方策
- 災害時に保健医療活動の総合調整を行う「都道府県保健医療調整本部」について保健医療と福祉の連携や、発災前の連携

(2) 中長期的な支援

- 被災者の個別ニーズに即した伴走支援
 - ・ 「健康」「生活」「収入」「住まい」を軸に課題を抱える世帯のアセスメント
 - ・ これら課題に即した関係機関との連携

2 今後のスケジュール

半年の間に3～4回程度を開催し、主に以下の内容について議論予定

- | | |
|-------------|-----------------|
| 第1回 <8月23日> | 発災後間もない間の対応について |
| 第2回 <10月2日> | 中長期的な支援について |
| 第3回 <年内メド> | 報告書(案)について① |
| 第4回 <年度内メド> | 報告書(案)について② |